

小美玉市議会には3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）があります。議員はいずれかの委員会に属し議案審査を行います。6月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

## 総務

(委員) 田田村 榎本 仲  
村戸市 大岩 谷

### ◆財政調整基金繰入金

**問** 財政調整基金繰入金に関する市としての基本的な考え方は。

**答** 財政調整基金は、歳入歳出間の不均衡を調整する役割を担っている。新型コロナウイルス感染症対策事業において、緊急に実施を要する場合、財源確保を待って事業の進捗が遅れると、被害の拡大および健全な財政運営にも影響を及ぼすことから、今後も財政調整基金を活用していく。

### 要望

緊急時においては、規模とスピードが重要であるため、新型コロナウイルス対策を今後も注視していくなかで、機動的な財政措置を要望する。

### ※財政調整基金とは・・・

地方公共団体の健全な財政運営を確保するために設置した積立金で、いわば地方公共団体の貯金であり、経済事情の変動等による減収、災害により生じる予期せぬ支出や減収を埋めるときや緊急性の高い大規模な建設事業の経費等に充てるものです。

### ◆不法投棄廃棄物サポーター

**問** 不法投棄現場を目撃した場合、一般市民はどのように対応すればいいか。

**答** トラブルに巻き込まれないためにも、執拗に追跡するようなことはせずに、具体的な内容を警察や市役所に知らせるなどの情報提供をお願いしたい。



## 文教福祉

(委員) 村津川 島谷 木取  
木長 小長 幡植 香

### ◆介護保険料の減額

**問** 全体的に減額される保険料はどれくらいか。減額分の財源はどうなるのか。

**答** 全体で約1930万円の減額になる。財源については消費税引き上げによる財源が充てられる。

### ◆学校臨時休業対策費補助金

**問** 学校給食納入業者に対する補助金は、申請のあった業者だけか。その他の業者の対応は。

**答** 3月の学校臨時休業期間の給食停止キャンセルに要した費用について、納入業者29社のうち4社から補助対象経費の請求があった。その他については、順調にキャンセルができた。

### 要望

対面的にキャンセルに応じた業者もあるかもしれないので、そのあたりの配慮も願います。

### ◆子育て世帯への臨時特別給付金

**問** 支給方法はどのように。

**答** 今回の臨時給付金は、0歳から15歳までのお子さんに1人1万円を、通常の児童手当と同様の方法により支給する。



## 産業建設

(委員) 川田村島井  
荒島野田福石

### ◆シビックガーデン

問 維持管理費の補正予算の内容は。

答 小美玉農業公社とバーベキュー広場の間にある木製橋の修繕と野外テーブルの改修を行う。

要望

素晴らしい施設なので、改修が終了したら、多くの方が利用できるように施設の周知をしてほしい。



※シビックガーデンとは・・・

家族ぐるみで土に親しみながら、自然との触れ合いや学習の場として、さらには都市と農村の交流施設として、平成8年4月に開設しました。園内には貸農園のほか、研修室やバーベキュー施設があり、市民の憩いの場になっています。

【施設内容】

貸農園…225区画(1区画30㎡)

使用料/年間5,250円)

果樹園(あんず・梅・柿・ブルーベリーなど)

研修館

バーベキュー施設

(屋根付2/野天3)



詳細はこちら

### ◆産地パワーアップ事業補助金

問 事業内容と補正予算で対応する理由は。

答

県の「茨城かんしょトップランナー産地拡大事業」に取り組む、市内の「かんしょ」生産者が周年出荷体制を整えるための低温貯蔵施設整備や、高効率な収穫機を導入することにより、作付面積と販売額の拡大を図る。今般、この事業に取り組む県内22市町村の計画が整い、小美玉市への配分額が決定したため補正計上するもの。

## 議案に対する主な質疑

●議案第37号

問

不法投棄が減少しない中で、監視員制度から、なぜサポーター制度にするのか。

答

環境基本条例の改正を踏まえ、自然環境の保全や快適な環境づくりに向けて、地域住民全体で不法投棄に関する情報を共有し関係機関や団体等と協働により対応していく。サポーターには地域と行政をつなぐパイプ役としての役割を担っていただき、段階的にサポーター間のネットワークづくりや地域住民への啓発活動も担ってほしいと考えている。

●議案第42号

問

地域文化コーディネーター業務委託料減額の根拠等は何が。

答

館職員や住民委員が、さまざまなノウハウを受け継いで育ってきていることや自立した運営形態を創るため、今年度から会議の出席を、月2日から月1日とした。会議の出席日数は減るが、必要に応じてメールや電話等で、アドバイスをもらい、これまでの成果を活かしていく。